

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
・様々な資料や調査活動を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるようにする。	・社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことを選択・判断したことを適切に表現したりすることができるようにする。

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域と資料を結び付けて考えることが難しい。ア ・身近な地域の様子に着目し、そこから問いを見いだすことが難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を比較させることにより、共通点や相違点を発見させ、地域のよさについての認識を促す。ア ・興味・関心を引き出すような資料を提示し、児童の問いから学習問題を設定する。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業 ・随時 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を自ら読み取り、まとめる力が弱い。ア ・学習で学んだことと自分の生活を結び付けて考えるのが苦手。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る視点を与える。ア ・新聞作りなど、考えをまとめる活動を多くする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 ・通年 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料から情報を読み取りまとめる力が弱い。ア ・根拠や理由などを明確にして説明することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取る視点(人・もの・場所・数字など)に着目して考えられるようにする。ア ・根拠をもった発言に対して、クラス全体で学びを深められるようにする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごと ・单元ごと 	

第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を解決するために必要な情報だけを資料から探し出す力が弱い。ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・今聞かれていることは何かを明らかにして、必要な情報だけを読み取れるように資料の読み取りを提示していく。ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図表を活用して説明する力に課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表の読み取り方を都度確認し、図表にまとめる習慣をつける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時 	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p>
<p>3年 資料の比較ができるように、資料をタブレットで共有する。 【重点：個別】</p> <p>4年 ロイロノートに資料を配信し、自分のペースで資料を見て、読み取れるようにする。【重点：個別】</p> <p>5年 問題に対して様々な視点で調べることができるよう、一人一人がインターネットを利用する。【重点：協働】</p> <p>6年 学習問題を解決するためにどのような情報を調べるのか明確にして、インターネットを活用する。【重点：協働】</p>	<p>3年 興味・関心を高める資料を提示し、身近な地域の様子と実生活を結び付け、学習意欲につなげる。</p> <p>4年 本時の学習の流れを提示し、見通しをもたせることで学習意欲につなげていく。</p> <p>5年 単元ごとの学習問題を児童と考え、自分の生活と結び付けて、学習意欲につなげる。</p> <p>6年 学習問題や学習計画を立てる際に単元を通して何を理解するのか明らかにする。</p>